

第1学年 ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 主 題 インターネットによる人権侵害

2 主題設定の理由（省略）

3 ね ら い

インターネットの特性を理解し、被害者や加害者にならないためにルールやマナーを守り、正しく利用する方法を身に付けさせる。また、適切なコミュニケーションを図り、よりよい人間関係を構築する方法を理解するとともに、互いの人権を尊重する人権意識を高めていこうとする態度を養う。

4 指 導 計 画

(1) これまでの学習

第1回 人権意識調査	1時間
第2回 校内体験学習	2時間

(2) 本時の学習

第3回 インターネットによる人権侵害	1時間
--------------------	-----

(3) これからの学習

第4回 人権教育講演会	2時間
第5回 校内体験学習の振り返り	1時間

5 本 時 の 学 習

(1) 目標

- ① インターネットの特性を理解し、被害者や加害者にならないためにルールやマナーを守り、正しく利用する方法を身に付けさせる。
- ② 他者と適切なコミュニケーションを図り、よりよい人間関係を構築する方法を理解するとともに、互いの人権を尊重していこうとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ・・・自他の尊重、多様な見方や考え方
個人人権課題名・・・インターネットによる人権侵害

(3) 展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
導入 5分	○本時の目標を理解する。	○本時の流れを説明し、理解させる。	
展開 40分	○班で「伝言ゲーム」を行い、代表者に伝わってきたことを黒板に書く。 ○事例①を見て、自分の気付いた問題点を MetaMoJi に記入する。	○「伝言ゲーム」で情報を正確に伝えることの難しさを理解させる。 ○インターネットでの書き込みによって読み手がどのような感情になるか考えさせる。	○情報を正確に相手に伝えることの難しさを理解することができたか。 (知識的側面) ○自ら内容の問題点について気付き、指摘することができたか。 (価値的・態度的側面)
	投稿内容について問題点をあげてみよう。		
	○事例①の問題点について、注意すべきことを班別で話し合い発表する。 ○事例②の内容を聞き、民事・刑事上の責任が発生することを理解する。 ○事例③を見て、送られてきた内容について班で考えたことを MetaMoJi に書き込む。	○ワークシートにそれぞれの考えをまとめさせ、共有させる。 ○インターネットで発生した事例でどのような民事・刑事上の責任があったか説明して、理解させる。 ○短文や端的な表現によって意思疎通が十分に図れないことや相手のことを想像することを伝える。	○他者の考えを傾聴しながら、自分の考えを発表することができたか。 (技能的側面) ○事例で発生した民事・刑事上の責任について理解することができたか。 (知識的側面) ○受け取る相手の立場となって想像し、考えることができたか。 (価値的・態度的側面)
	Bさんは、なぜ悲しい気持ちになってしまったのか。		
	○自分事として、メッセージのやりとりで感じたことや対応策をまとめて班で発表する。	○自分事として考え、班別でワークシートにまとめた意見を発表し、共有させる。 ○これから自分自身が気を付けなければならないことを考えるように伝える。	○仲間の意見を聞いて、尊重するとともに、これから自分がどのように行動するか考えることができたか。 (価値的・態度的側面)
まとめ 5分	○本時のまとめを聞く。	○インターネット上での軽率な発言が、相手の誤解を招き、人権侵害になってしまうことや、便利だからこそ使い方に注意することを理解させる。 ○自らの行動がすべての人の人権を守ることにつながることを伝える。	○適切なコミュニケーションによって、よりよい人間関係を築き、互いの人権を尊重していこうとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面)